

4つの検定制度

2024年2月9日より従来の研修制度や機器評価制度を4つの検定制度に名称変更しました。

<https://www.jeas.gr.jp/intro10.html>

01



JEAS検定制度講習会

工業会 万引防止システム関連の販売・設置・保守・サポート・法務等を行う人すべての方に参加をいただき、万引防止システムの正しい使い方と知識を身につけて、その普及・拡大を目指すものです。

講義内容としては、EAS機器関係だけでなく、防犯カメラ、防犯データ利用(顔認証システムなど)、保安警備、AIカメラを含む市場調査など豊富な最新情報が学べます。

02



科学保安検定制度講習会

JEAS推奨顔認証システムを使って、効果的に安全に保安業務を遂行(分析や会議報告も含む)できるようになる。併せて、JEAS認定個人情報保護団体ページの各冊子を理解していただくことを目指します。

防犯情報の活用と防犯会議の進め方を学ぶことで、ロス対策業務の水準向上と生産性向上の両立性を主眼に置きます。

03



推奨顔識顔認証システム (推奨顔識別機能付きカメラシステム) 検定制度

個人情報保護法を順守し、安全な顔認証システムの提供と運用を推奨します。

顔認証システムの性能が実際にシステムを使用する際、効果的、有効であるか否かの視点で「推奨」の基準を定めています。小売業向け顔認証は、システム認定基準と運用認定基準を審査する認定制度です。

04



推奨製品認定のための検定制度

「ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～」に合わせ、JEASの理念に沿ったシステム・サービスを推奨製品とする制度です。

ICT技術やAIなどの進化に伴い、密集・動線・購買調査、統合型NVR、多機能クラウドカメラ、棚卸分析、防犯等情報共有、自動会計、出退勤・入退室管理(顔認証やRFID含む)、配膳、ロボット配送、見守り・介護補助などで実用化されたものを幅広く対象とします。

※各修了証は「検定制度修了証」に変更となる予定です。



新たな制度として、業界に長らく貢献し後進の模範となられている方々を「職業専門委員」に認定する制度を令和6年度通常総会（6月7日開催）にて発出する予定です。

職業専門家とは

ACFE JAPAN「FRAUDマガジン93号(2023/08/01)」掲載の「工業会日本万引防止システム協会(JEAS)の職業倫理観」より抜粋し、ご説明させていただきます。

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230516-5.pdf>

職業専門家に求められる技能と技量と使命

ロス(損失)が多い組織では「ウチの店長や社員たちは意識が低いので.....」と幹部社員がしばしば口にする。不正の多い組織では「ウチは特殊なので.....」といったように、社員が全てにおいて「諦めモード」なのである。

一方、改善に向かう組織では「皆の関心を高めるために.....」というように、会話の中で「関心」という言葉が多く多用される。「意識が低い」という言葉を見直し、「関心を高める」という言葉を使い始めると幹部へ登用されるケースも多いように思う。そうした前向きな社員は、その根底に職業専門家としての技能・技量、そして使命が備わっていると感じることも多い。

職業専門家・現場対応の技能とは 改善のプロセスを調査し、正確に説明・再現できることである。

職業専門家・心理的な技量とは 明らかに実態と異なる見解が示された場合、正確な理解へと促す科学的提案を行う。

それには、概念的な危惧や人的圧力を凌駕するシミュレーション力(胆識)が求められている。一見、「面倒だなあ.....」と感じるような変化の中にこそ、次の時代を生き抜く糧が隠されている。

それに気づき、対応していく内なる強い働きかけを研鑽と呼んでいる。

職業専門家に求められる使命とは 人々の安全安心のため、脱法思考を排除し、官民で基準を作りその順守を全うする。わたしたちはそれを「永劫の使命」と呼んでいる。

職業専門家の定義は2018年6月8日通常総会・意見交換会で、その日会長代行に就任された現会長によって説明されたのがはじまりです。